国労東日本

港区新橋5-15-5
交通ビル3F
国労東日本本部
発行責任者 佐藤 勝雄
編集責任者 伊藤 隆夫

2004年8月24日
第615号
定価 20円
組合員の購読料は組合費に含まれています

第18回国労東日本本部
定期大会
日時：9月19日（日）10時～16時30分
場所：横浜市開港記念会館

仕事総点検運動を総括し、成果と教訓を 第18回国労東日本本部定期大会に持ち寄ろう！

ILO第6次勧告（6・18）を受け各地で、情勢の学習・集会が取り組まれています。東日本本部としても、このILO勧告を突破口に、一日も早い「不採用問題の早期解決」に向け取り組まれた、九州・北海道での集会への執行委員派遣、8・2～3で取り組まれた中央行動への参加体制強化などに集中をしてきました。こうした中で、本部は、第72回定期全国大会を「総団結・総決起」の場と位置付け決意を新たにしています。同時に、この全国大会を受け開催する東日本本部定期大会は、JR東日本・貨物の異常な労務政策の転換に全力を上げ、「差別のない明るい職場の確立・安心して働くことの出来る健全な会社を作る」方針の確立と意思統一が求められています。

今号は、①九州・北海道集会報告、②青年部交流会報告、③地方・職場ニュース報告、としました。

総団結で早期解決を勝ち取ろう！「ILO勧告を政府に履行させ早期解決を勝ち取る集会」開催される

7月17日・九州、7月18日・北海道において、「ILO勧告を政府に履行させ早期解決を勝ち取る集会」が開催されました。

両集会には、国労全体として団結を回復するとともに、ILO第6次勧告を活かし早期解決を実現させるという決意を込めて、東日本本部各地方からもそれぞれ代表者が派遣され、勧告の意義を確認しあいました。

このうち北海道の集会は、北海道教育会館に約200名の組合員（東日本各地方からは12名）、共闘の仲間が結集しました。集会の冒頭、7月16日に亡くなられた音威子府闘争団の石原さんの御冥福を祈り黙祷を全体で行ないました。これで解決を迎えることなく亡くなられた方は27名となっており、あらためて早期の解決の必要性が認識させられました。

その後集会は、国際運輸労連・和田茂氏から「ILO第6次勧告をどう受けとめるか」、顧問弁護士・後藤徹氏から「ILO勧告と裁判闘争」と題した講演が取り組まれ、第6次勧告の内容と6回も勧告が出された背景などが詳しく解説されました。次いで支援団体（北海道平和フォーラム、自治労、教組、全開発、全自交）、ILO連絡会海渡弁護士から連帯の挨拶を受けました。

そして集会の最後には闘争団を代表して北海道闘争団連絡会議議長の葛西さん、家族会を代表して釧路闘争団家族の村越さんから決意が述べられ（葛西氏決意表明は別掲）、北海道本部頼定委員長の団結がんばろうで全日程が終了しました。

12・22最高裁判決以降、国労を取り巻く情勢は大変厳しいものとなっていました。しかしILO勧告は、最高裁判決を十分認識した上で「深刻な問題を解決するために、政治的、人道的見地の精神にたった話し合いを全ての関係当事者との間で推進するように」と言っています。

東日本本部は「仕事総点検運動」を進める中で、労働条件を改善させ、安全・安定輸送を確立させていくために一丸となり運動を進めてきています。

5月の組織対策会議以降、千葉・東京においてこれらの運動に共感し国労復帰が進んでいます。更に拡大を勝ち取るとともに、ILO勧告を全体のものとし不採用事件の早期解決はじめ、あらゆる闘いに勝利するために全体が奮闘しあいましょう！

（武田 幸喜）

新たな解決要求もとに団結回復へ

北海道闘争団連絡会議議長　葛西　忠雄

北海道闘争団連絡会議は、6月26・27日に開かれた「闘争団全国代表者会議」の議論をうけ、道内闘争団の団結回復に向けた議論をはじめました。

闘争団全国代表者会議では、最高裁での不当判決をうけて、国労本部は拡大中央委員会で新たな局面にふさわしい闘争と政治の責任による解決をめざすための「訴訟」の準備を決めたことや、全闘争団がまとまらなければ解決できないということを確認しました。

また、解雇をうけた当事者としての「解決要求」をつくりあげるべく、4月から行ってきた「個人実態調査」の集約結果をもとにした基本要求「①JR各社の採用を含む本人希望に基づく全員の雇用を確保すること　②JR各社に採用されていたならば得た賃金相当額を支払うこと　③JR各社に採用されていたならば継続されていた厚生年金を回復すること　④不当労働行為にともなう不利益是正を求める争議費用及び慰謝料を支払うこと」をもとに、意見交換を継続するなかから団結を回復していくことも、全体で確認しました。

多くの皆さんにご心配をおかけしておりますが、闘争団全国代表者会議で確認しました団結の回復を最優先に、道内闘争団は闘いを継続していくことをご報告し、あわせて以前にもまして闘争団へのご協力をお願いします。

国労北海道情報NO.170より

第8回青年部海水浴交流会開催される

青年部の恒例行事である海水浴交流会が、7日に千葉県勝浦市の鵜原海岸で行われました。今年は諸般の事情により開催地が変更となりましたが多くの組合員と家族、他労組の仲間など28名が参加して南房総の海を楽しみました。遠くは長野から未明3時に出発した方もいるなど、家族サービスのために奮闘するお父さんの姿を見て感心したり考えさせられたりした方もいらっしゃったのではないでしょうか。

初めての場所ゆえに色々と不都合や不手際がありご迷惑をおかけしてしまいましたが、2日間ケガもなく無事に終了する事が出来たのも、日頃の行いが良かったから・・・と勝手に解釈をしている書記長であります。みなさん本当にお疲れ様でした。

参加者の声

今回初めて家族で参加をしました。2日間楽しい時間を過ごすことが出来て子供も大変喜んでいました。また来年も参加したいです。(長野・貨物)

来年もぜひ開催を！　(東京・旅客)

各地方・支部・職場 Newsから

E231系真夏の怪 猛暑に涼しいエアー漏れ！

前号の「やまて73号」で圧力変換器に水がたまる不具合を指摘しましたが、7月に入ってパンタグラフの下げ電磁弁パッキンからの漏気が多発。

すでに21日までで取替えや増締めなど10件の修繕記録があり、中にはホーム検査の出動や漏気音（床下から異音、コンプレッサーが止まらない等で）による車両交換も行っている。

当初原因として、取付ボルトの増締めの時に締めすぎ、取付の時にパッキンがずれた、パッキンの製造年月が古く柔軟性が無くなっていたためにひびが入ったなどとして順次交換してきたが、7月11日から連続発生しているのは2004年製造のパッキンであることから今度は、製造ロット単位の不良品では？と技術科で話している。

しかし、従来パンタグラフの電磁弁は社内の座席下や機器箱に収納されているが、E231系では社内を広くするために各種NFBや主要機器と共にパンタグラフの下げ電磁弁などを床下の機器箱に収納している（ホーム検査では対応出来ない）。

そのため、ここ最近の猛暑により機器箱内の気温の上昇と常励方式による電磁弁自体の発熱によって900Kpa近い空気圧にパッキンが耐えられずパンクした可能性も考えられる。

E231系はメン近構想のもと「ライフサイクルコスト低減」「人に優しい車両システム」を目指して作られたが、現場を知らない設計者が机上で都合の良いデーターを基に作り上げた結果、連日の車両故障を引き起こしている。

今すぐ設計の見直しと、全ての車両不具合の原因が究明されるまで、運行を控え、新造の中止を考えなければ、パッキン一枚で、お客様の信頼とJRブランドの信用を失う事もある。

「国労やまて」(国労品川電車区分会) NO.74 (04年7月28日)

盛岡地方本部 「組織強化・拡大モデル分会交流会」開催

盛岡地方本部は7月31日、「組織強化・拡大モデル分会交流会」を盛岡市の労働福祉会館で開催した。盛岡地方本部は、東労組との攻防の激しい乗務員職場を抱える分会を中心に、一ノ関運輸分会・盛岡運輸区分会・八戸運輸分会・青森運輸区分会・青森運転分会の5分会を組織強化・拡大モデル分会に指定し、この間取り組みを続けてきた。今回の交流会には、5モデル分会の組織強化・拡大対策委員ををはじめ、盛岡・青森両支部代表など全体で21名が参加をした。

地方本部から「来年はJRが誕生して18年目になり、その年に生まれた子供が新採として入ってくる年でもある。そのような環境の変化がある事実の中で拡大を考える必要がある。東日本本部『組織拡大対策会議』を挟んで続々と他の地方本部で組織拡大が続いているだけに、今日の交流会で各々の分会での取り組みに学び合い、拡大の一歩を踏み出そう」と、①組織強化・拡大行動の実践にあたって②今後の行動にあたって③具体的な取り組みについて問題提起した。

交流の中では、「東労組は、一昨年の浦和電車区退職強要事件で7人の逮捕者を出して以来、掲示板に国労を誹謗中傷する掲示物は減った。東労組内に綻びが出てきている」等いまが拡大のチャンスであることが報告された一方で、「今の国労の一部不団結が拡大のネックになっている。他組合は、国労内がドロドロしていると見ている。国労組織の魅力をアピールすることが必要である」とも報告された。

また、「今の国労差別の実態を改善する取り組みを通じて拡大につなげたい。他労組組合員と意識しないで気軽に話をしている。国労組合員は、人間関係も含めてけっして負けてはいない。拡大については壁もあるしギャップもあるが、腹をくくって取り組みたい。マイナス面は承知のうえで、拡大をしなければと思う。本日の交流会を契機として、闘争委員会で拡大について議論する」等、明日からの職場での行動について決意を含めた報告もされた。

討論を受け、「組織強化・拡大が差別を無くす闘いに通じることが報告された。今日の交流集会を契機に拡大に向けた一歩を踏み出すという前向きな報告もあった。定例的な機関会議を開催する中から組織的な拡大に向けた意思統一をお願いする。腹をくくって一歩前に出た大胆な行動で、組織拡大を勝ち取ろう」とのまとめを全参加者で確認した。

東労組内の組織混乱や革マル問題等で、JR東日本会社が現在の労務政策を変更せざるを得ない今のチャンスを活かし、組織の多数派を目指して全組合員が一丸となって取り組んでいかなければならない。

8月11日付で地域間異動終了を機に江戸武治さん（40歳）が国労に加入した。「一組合員として国労発展のために頑張りたい」と決意を語っている。第二、第三の拡大に向け、微力ではあるが奮闘したい。(国労盛岡地本発)

「がん」の生涯保障〈21世紀がん保険〉

BESTプラン・1倍	ご本人の保障
初めて診断されたとき	〈一時金として〉がんの場合 100万円 / 上皮内新生物の場合 10万円
入院したとき 安心の無制限	1日につき 10,000円
手術を受けたとき	1回につき 20万円
高度先進医療を受けたとき	技術料に応じて 6~140万円
通院したとき	1日につき 5,000円
がんで死亡したとき	10万円

・保険期間:終身 ・契約年齢:満3歳~満80歳 ・解約払戻金0コース

〈引受保険会社〉
自信があります。私の医療保険。
AFLAC アメリカンファミリー生命
東京第三営業本部 第三支社 ☎03-3344-1889
〒163-0456 新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

プラス

がん以外の「病気・ケガ」の生涯保障〈特約MAX21終身タイプ〉

ケガの保障は90歳までとなります。	ご本人の保障［本人型］
病気で入院したとき / ケガで入院したとき（日帰り入院も保障※）	1日につき 5,000円（1日目から）
がんを含む病気・ケガで所定の手術を受けたとき（日帰り手術も保障）	1回につき(手術の種類により) 5・10・20万円

・保険期間:終身（ケガの保障は90歳までとなります。）・疾病・災害入院給付金日額5千円
・契約年齢:満3歳~満80歳（本人型）・1回の入院については124日まで保障 ※日帰り入院（1日入院）とは、入院日=退院日の入院で、入院料の支払いの有無で、入院であるかどうかが判定されます。

◎詳細はパンフレット、ご契約のしおり・約款をご覧ください。

■募集代理店
アベニール 株式会社
TEL 03-3437-6810 FAX 03-3437-6822
〒105-0004 港区新橋5-15-5 交通ビル3F

AFN広告-2003-015-0402051 2月21日